

令和4年度 第1回 北茨城市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和4年度 第1回 北茨城市地域公共交通会議
開催日時	令和4年10月14日（金）午後2時から午後3時
開催場所	北茨城市複合防災・給食センター会議室
出席者	別紙1の通り
会議の議題 および会議 の内容	<p>議長挨拶</p> <p>○議長 本日はご多忙の中、北茨城市地域公共交通会議へご出席を賜り、誠にありがとうございます。また日ごろから、本市の交通行政につきまして、ご理解とご協力をいただき重ねてお礼申し上げます。</p> <p>本市では、病院や買い物への移動手段がない方に、巡回バスやタクシー助成券をご利用いただいておりますが、市民の方々から様々なご意見をいただいているのが実情です。このような中、市民の移動手段となる地域公共交通を維持するため、より効率的な地域公共交通の運営方法や本市の実情に合った地域公共交通の在り方を検討するため、地域公共交通の基本となる「地域公共交通計画」を策定することになりました。</p> <p>本日は策定の目的や市民の方を始めとして、事業者や市内の企業の方々への意識調査の実施などが主な協議内容となっています。また、本市の公共交通の重要な施策決定となりますので、委員の皆様には忌憚のないご意見やご提案をお願いいたします。</p> <p>本日はよろしく願いいたします。</p> <p>会議の成立について</p> <p>○事務局 本日の出席委員は、代理出席を含め19名で、過半数に達しておりますので、本会議の設置要綱第6条第3項の規定により、本会議が成立したことをご報告いたします。</p>
議事	<p>議事進行</p> <p>次第にしたがって、進めさせていただきます。</p> <p>それでは、議題1つ目、北茨城市の地域公共交通の策定について、事務局より説明をお願いします。</p>
会議の議題 および会議 の内容	<p>議題1 北茨城市地域公共交通の策定について</p> <p>○事務局 それでは、「北茨城市地域公共交通計画の策定について」説明させていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>まず、「策定の目的」でございますが、本市ではこれまでに、地域の実情に合った公共交通体系について、この地域公共交通会議で協議・検討していただきながら、整備を進めてまいりました。しかし、人口減少・少子高齢化に伴う社会経済構造の変化や新型コロナウイルス感染症などによる公共交通利用者の減少、交通事業者における運転手不足など、公共交通を取り巻く環境は深刻な状況に置かれています。</p> <p>このような状況を踏まえ、公共交通機関の連携・役割分担のもと、利便性が高く、持続可能な地域公共交通の提供の確保を目的として、地域公共交通計画を策定することとしました。</p> <p>次に、「計画の位置づけ」でございますが、図1のとおり、第5次北茨城市総合計画を上位計画に位置づけ、都市計画分野における「北茨城市都市計画マスタープラン」や福祉分野における「北茨城市地域福祉計画（第4期）」と整合性の取れたものとして策定します。</p> <p>「計画の期間」は、令和6年（2024）度から令和10年（2028）年度の5年間とし、令和4年度から5年度までの2か年かけて計画を策定します。</p> <p>「策定体制」については、「北茨城市地域公共交通会議」において、本計画の策定及び推進に係る協議を行います。下部組織として、各種関連事業等を所管する課長を構成員とする庁内検討会議を開催し、庁内において計画の方向性や施策内容について整</p>

	<p>理・検討したものを地域公共交通会議において、さらに検討いただく形で進めてまいります。</p> <p>簡単ではありますが、「本市の地域公共交通・関連事業の現状について」の説明は、以上となります。</p>
議事	<p>○議長 事務局からの説明がありましたが、何か意見や質問等がありますか。</p> <p>○柴田委員 これまで 15 回にわたって会議を実施したとありますが、これは庁内の課長以上の役職の人での会議が 15 回ということですか。いつから開催されていますか。</p> <p>○事務局 地域公共交通会議と申しまして、今回のメンバーに近いメンバーで、平成 21 年から 15 回実施されました。今回は法定協議会なので、何人か必要なメンバーが追加され開催しています。</p> <p>○議長 他にないようなので、次の議題に進めさせていただきます。</p>
会議の議題および会議の内容	<p>議題 2 意識調査の実施について</p> <p>続きまして、「意識調査の実施について」を説明させていただきます。</p> <p>資料 2 の各種調査の概要一覧と併せて各調査票の資料 3 から資料 8 をご覧ください。</p> <p>本計画策定にあたりましては、北茨城市で初めて策定する計画となっておりますので、市民の方や交通事業者、公共交通利用者、高校生、市内企業にお勤めの方など、多くの方から本市公共交通の現状や課題等を伺い、策定してまいりたいと考えております。</p> <p>アンケートの調査対象者や実施予定期間など簡単にご説明いたします。</p> <p>資料 3 公共交通に関する市民アンケートでは 市民無作為抽出で 16 歳以上 3000 名を対象にアンケートを実施し、市民の方の公共交通の利用状況や移動ニーズの把握をはじめ、本市の公共交通の在り方などを調査します。</p> <p>次に、資料 4 公共交通の利用者アンケートになります。利用実態や改善すべきサービスの把握などを目的としています。対象者としましては、市巡回バス・茨城交通路線バス・市民病院無料シャトルバス・患者輸送車（みどり号）・スクールバス・北茨城 IC 発着の高速バス利用者・磯原駅や大津港駅、南中郷駅を乗降車する鉄道利用者を予定しております。</p> <p>続いて、資料 5 交通事業者アンケートになります。事業者目線での公共交通の問題・課題、見直しに当たって留意すべき点の把握を目的としています。対象者としては、路線バス事業者・市内タクシー事業者・鉄道事業者としております。関連して、教育委員会、観光協会、商工会、社会福祉協議会へも実態や要望についての調査を予定しております。</p> <p>次に、資料 6 高校生を対象とした調査になります。市内の磯原高校の全生徒を対象とした通学時の交通手段の把握及び公共交通への転換可能性の把握を目的としています。また磯原高校以外の市外高校へ通学する高校生については、先ほどの資料 4 の公共交通利用者アンケート調査、特に JR 駅での調査において把握する予定です。</p> <p>続いて、資料 7 市内企業・従業員を対象としたアンケートになります。通勤時の利用交通手段や公共交通への転換可能性の把握を目的としています。市内に立地する企業 10 社程度、1 社あたり 100 人程度を想定しております。</p> <p>最後に資料 8 商業施設（敷地面積 3000 m²以上）・宿泊施設（主にホテル）・医療機関を対象に、連携した取組や送迎バスの活用可能性の把握を目的とし、調査を実施する予定です。</p> <p>実施予定期間ですが、市民アンケートにおいては、11 月上旬頃に発送し、3 週間程度の回答期間を設け、12 月上旬頃を締め切りとする予定です。交通事業者や高校生・市内企業・従業員アンケートも同じ期間で実施する予定です。</p> <p>また、公共交通の利用者アンケートは 11 月上旬（4 日を予定）に委託業者において、直接利用者にアンケートを取る方法で実施する予定です。</p>

	<p>簡単ではありますが、「意識調査の実施について」の説明は、以上となります。</p>
<p>議事</p>	<p>○議長 事務局から意識調査について説明がありましたが、何か意見や質問等がありますか。</p> <p>○山田委員 これから大規模な調査をされるとのことなので、是非少しでも効率の良い調査になるよう検討いただければと思います。</p> <p>市民アンケート調査について確認させていただきたいのですが、意図としては公共交通を使っていない方については現状を教えていただきたいということですが、今マイカーを使っている方で、公共交通を使いたいという方は稀だと思いますが、そうでない方で家族の方も送り迎えをするのが負担となる方は今でも公共交通を使っておられるという現状の中で、返って来るうちの半分以上はあまり不便がなくて、今のままで十分だとなることが考えられます。調査の意図としては、マイカーを使っている人は自由に色々な所に行けるが、公共交通を使っている人は行ける先が少ないなど、そのような比較のデータとして活用できるのではないかと思います。</p> <p>また、困っている中身も色々あるため、買い物に行く頻度が少なく困っているやこのような負担がある等内容を具体的に聞けると良いのではと思いました。公共交通にあまり関係のない人からアンケートを取る意味がもう一つあって、自分は乗らないが、わが町としてないと困るという意見がどのくらい集まってくるのかということの意味があります。それが問27、問28になるとと思いますが、問27は選択肢が雑駁すぎて、人口が減少し、公共交通が縮小していくのはやむを得ないけど、それを少しでも抑えるべきだなどのニュアンスがないので、もう少し積極的に公共交通を維持するのか、家族の送迎に委ねれば良いのかなど、方向性が定性的にわかる選択肢にさせていただいた方が良いのではないかと思います。</p> <p>問28は、ステップとして公共交通がないと困る人がどのくらいいて、どのように困るのかを示した上で、今よりも増やすべきか減らすべきかを聞いたり、困っている人が自分たちの状況をもっと市民に知ってもらいたいなど、それも政策の一つなので、そういう具体的な方向性を示す選択肢も入れていただいた方が良いかと思いました。</p> <p>○事務局 ご指摘の点、もう少し調整していきたいと思います。</p> <p>○議長 方向性を示す設問が欲しいとのことなので、よろしくお願いします。</p> <p>アンケートを実施して、次回議論していただくので、このような形でアンケートを実施していくので宜しくお願いします。</p> <p>その他ご意見・ご質問等はないようなので、次の議題に進めさせていただきます。</p>
<p>会議の議題 および会議 の内容</p>	<p>今後のスケジュールについて</p> <p>続きまして、「今後のスケジュールについて」を説明させていただきます。</p> <p>資料9をご覧ください。</p> <p>まず、本会議において、意識調査実施に対して、委員の皆様から了承を得られましたので、調査票の準備・発送手続きなど、委託業者と進め、意識調査に移ります。年内を目途に集計を行い、年明けに集計結果を基に問題点や課題の抽出・分析を行い、報告書を作成し、3月頃に結果報告をする予定です。</p> <p>令和5年7月頃、公共交通会議を開催し、骨子（基本的な方針・目標）について検討・協議する予定です。</p> <p>その後、計画素案を作成したのち11月頃に再度、委員の皆様へ素案内容の確認等していただき、了承が得られたらパブリックコメントを行い、意見や修正内容などを集約し、素案の修正を行います。</p> <p>3月頃に委員の皆様へ了承を得られましたら、本計画として確定する予定です。</p> <p>簡単ではありますが、「今後のスケジュールについて」の説明は、以上となります。</p>

議事	<p>○議長 事務局から今後のスケジュールについて説明がありましたが、何か意見や質問等がありますか。ないようでしたら、このようなスケジュールで進めて行ければと思います。</p> <p>その他で何かご意見・ご質問等ありましたら、よろしく願いいたします。</p> <p>○豊田委員 タクシー助成券が月別に色を分けて月4枚配布していると思いますが、利用者から使う月と使わない月もあるので、可能であれば同一色にして年間で48枚使えるやり方でできないのかとの意見をいただきました。検討いただければと思います。</p> <p>○事務局 すでにそのような意見が出ていて、検討している所です。また、色は誤使用を防ぐために、月別に色分けしています。</p> <p>○緑川委員 お客様からもこの月は使わないので、来月使っても良いかといった話はいただきます。他の自治体でも、一年で何枚というやり方をしている所もあるので、できないことはないと思います。</p> <p>○高松委員 アンケートは大事だが、深掘しようと思ったら、高齢者や障がい者はきちっと答えられないことも想定されるので、理解してもらい書いてもらわないと本当の意見は出てこないと思います。</p> <p>もう一点、マイナンバーを国で推進しているが、このタクシー助成券の発行もマイナンバーと連動できないですか。</p> <p>○事務局 国のデジタル化に合わせて進めていくものではありませんが、タクシー助成券については運行事業者との調整もあり市だけでは決められないので、すぐには難しいです。</p> <p>○山田委員 先ほどのご意見に対しては、みどり号患者輸送車の患者への調査で、アンケートだけではなくヒアリングもすることでデータが取れるという解釈もあるかと思いますがいかがですか。</p> <p>○事務局 調査員を入れるなど、手厚く聞いていけたらと考えています。</p> <p>○滝委員 以前からデマンド交通を導入して欲しいという意見も聞いています。また、高萩市では、公共バスを自宅の近くで乗れるという仕組みを導入したと聞いていますが、基本的な考え方として、今回のアンケートは現在のものを改善していくのか、新しいものを導入していくことを想定したアンケート調査になっているのか教えていただきたい。</p> <p>○事務局 これまでこういった現状を調査したことがなかったので、しっかり現状を把握するというのが一つで、またこれからこういったものを取り入れていくかは、このアンケートを通じて検討していくので、その材料としてこの結果を活用できればと考えています。</p>
会議の議題および会議の内容	<p>その他について</p> <p>続きまして、「その他」について説明させていただきます。</p> <p>前回の会議では新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議時間を短縮し、会議における質疑や意見などは会議終了後に事務局に紙ベースでの対応とさせていただきます。</p> <p>資料10のとおり、質疑や意見など集約させていただきましたので、お目通しいたごき、委員の皆様から何かご意見などがあればお願いいたします。</p>
議事	<p>○山田委員 客数に応じて、大型・中型・小型と分けてということですが、市としても現状一番</p>

税金が無駄ではないやり方でやっておられるのかと思いますが、バス会社の事情もあって、車を小さくしても契約金額は変わらないなどの理由はあるかと思いますが、そのあたり現状を教えてくださいませんか。

○事務局

巡回バスは委託契約をして、29人乗りの小型バスを5台走らせており、それで運輸局から許可をいただいています。

これを大型・中型・小型に分けるとそれだけの車両を用意しないといけないので、こちらを分けて走らせるとそれだけのバスを用意する事になり、予算的に厳しいと考えています。

○柴田委員

29人乗り小型とのことでしたが、29人乗りに1、2人しか乗っていないのを市民が見て、税金の無駄と言っているのだと思います。数人乗りの乗用車の方が効率が良いと市民は考えていると思うのですがいかがでしょうか。

○事務局

車なので車検などもあり、また路線バスなので、人があまり乗らない時間帯も走る必要があるので、人数によって変えるのは現状では難しいと考えています。

○柴田委員

今回のアンケート結果などを基に、便利なようになっていけばよいのかと思いました。

○議長

貴重なご意見ありがとうございました。今回のご意見を踏まえ、アンケート調査の結果を基に素案を作成していければと思います。他にご意見・ご質問はないようですので、本日の会議はこれにて終了にしたいと思います。

今後は公共交通計画の策定に向けて、本格的に動き出しますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。

○事務局

以上をもちまして、令和4年度第1回北茨城市域公共交通会議を閉会といたします。

次回は先ほどのスケジュールの中で説明がありました通り、令和5年3月頃を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

令和4年度 第1回北茨城市地域公共交通会議 出席者名簿

要綱に掲げる委員	委員選出団体	委員名	出欠 代理出席者
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体	茨城県バス協会	専務理事 澤島 政志	欠席
一般乗用旅客自動車運送事業者 (タクシー事業者)	茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事 服部 透	欠席
	高萩地区ハイヤー・タクシー協会	(有)中郷タクシー 代表取締役社長 緑川 貞幹	出席
一般貸切旅客自動車運送事業者 (貸切バス事業者)	(有) 太陽タクシー	代表取締役 武子 佳生	出席
一般乗合旅客自動車運送事業者 (路線バス事業者)	(株)茨城交通	執行役員 運輸部長 仲野 徳寿	代理出席 黒羽 拓真
住民又は利用者の代表	北茨城市連合民生委員児童委員協議会	連合会長 渡邊 修二	欠席
	北茨城市高齢者クラブ連合会	会長 松本 隆雄	出席
	北茨城市学校長会	副会長 菊地 恵美子	出席
	茨城福祉移動サービス団体連絡会	NPO 法人ウィラブ北茨城 代表 高松 志津夫	出席
	日立製作所通勤会	富岡 修一	欠席
	北茨城青年会議所	専務理事 菅野 元	欠席
	北茨城市社会福祉協議会	管理計画課長 根本 博行	出席
	北茨城市商工会	事務局長 馬上 英博	出席
関東運輸局茨城運輸支局長又はその指名する者	関東運輸局茨城運輸局	首席運輸企画専門官 國下 裕司(企画調整)	欠席
		首席運輸企画専門官 仲野 俊二(輸送)	代理出席 運輸企画専門官 赤木 祐道
茨城県警高萩警察署長又はその指名する者	高萩警察署	交通課長 木村 透	出席
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体が指名する者	全国自動車交通労働組合 連合会茨城地方本部	磯原支部長 加藤 高雄	出席
道路管理者	常陸河川国道事務所	計画課長 須藤 勝	欠席
	茨城県高萩工事事務所	道路整備第二課長 嶋津 直樹	出席
鉄道関係者	東日本旅客鉄道株式会社水戸支社	企画室長 小川 郁夫	出席
その他交通会議が必要と認める場合	茨城県政策企画部	交通政策課長 寺田 明弘	代理出席 課長補佐 山浦 俊一
	茨城大学理工学研究科 都市システム工学領域	教授 山田 稔	出席
	北茨城市議会	議員 豊田 弘俊	出席
	北茨城市議会	議員 柴田 キクエ	出席
	北茨城市議会	議員 滝 文裕	出席

市長が指名する市の職員	北茨城市	副市長 鵜沼 聡	出席
		市長公室長 石川 裕一	出席

事務局（北茨城市）	まちづくり協働課長	金沢 利幸
	まちづくり協働課 課長補佐	大山 智慶
	まちづくり協働課 主幹	沼田 崇志
	企画政策課 課長補佐	村田 貴紀
	企画政策課 主任	松川 記壽